

# 高性能林業機械の効率的な利用による低コスト作業システム構築

～工程管理システムの普及・改良によるさらなる生産性の向上～

後志森林管理署

## 【現状・課題】

管内民有林の森林蓄積は年間約29万m<sup>3</sup>ずつ増加しており、資源の循環利用に向けて生産性を高める必要がある。

### 森林蓄積と伐採量

(胆振・後志の民有林)



## 【平成30年度の取組結果・成果】

### 1 アンケート結果を踏まえた工程管理システムの改善

・使用事例の紹介  
優良な功程改善事例やシステムを役立てた事例の紹介。

事例：木寄せ作業のかかり増しが判明

→枝払い作業を簡素化しコストを削減

- ・入力の手軽化  
標準的な数値の代入や簡素化した作業日報の提案。
- ・システム入力のサポート  
入力の代行、改善策の提案。入力の簡便さの説明。
- ・システムの改良  
問題解決のためにシステム改良。

## 【今後の取組で 目指すところ】

民有林の現場を見て声を聞き、さらなる課題の掘り起こし・ニーズの把握を行う。

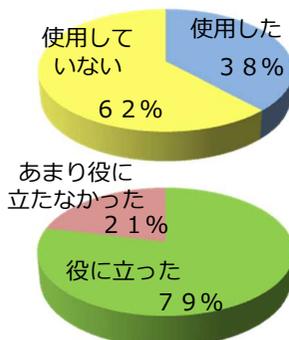


工程管理システムの活用により、さらなる生産性の向上を目指す。

## 【これまでの取組や成果】

### ○取扱説明会の開催

- ・局署HPでシステムを公開。
- ・説明会においてアンケート調査を実施。



システムについてのアンケート調査結果より

### 2 具体的な取組み

#### ① 工程管理システムの普及推進

- ・各種会議において、パンフレットを配付してシステムの説明を実施。
- ・システムの概要について北方林業へ寄稿（2018年春号）。
- ・システムを改良（詳細説明、記載例や参考数値の表示等）し、HPで公開(H31.1)。

#### ② 課題の掘り起こし、ニーズの把握

・サポートチームメンバーを中心に町有林の皆伐及び間伐現場を見て、事業実行者である森林組合現場代理人と意見交換を実施。

高性能林業機械が普及している反面、故障などが頻発していることや、採材の細分化が求められている実態を把握することができた。

#### ③ 適切な採材・仕訳の推進勉強会の実施

- ・仕訳（品等格付）を熟知し適正に区分するため、事業体を含めて勉強会を開催。  
一般材比率の向上に向けた採材方法の工夫などについて情報提供、意見交換をすることができた。

【今後の目標】 改善事例が見える化し、木材の生産性を向上させる。